



— 発行 全国高等学校演劇協議会 —

〒270-0025 千葉県松戸市中和倉590-1 千葉県立松戸高等学校 TEL(047)341-1288 FAX(047)346-4002

事務局長 阿 部 順

ホームページ <http://koenkyo.org/> メール info@koenkyo.org

第63回全国演劇大会 —宮城大会によせて—



全国高等学校演劇協議会
会長 揚 村 洋一郎

第63回全国高等学校演劇大会は、第41回全国高等学校総合文化祭の主催県である宮城県において、仙台銀行ホール（イズミティー21）を会場に8月1日～3日の3日間にわたって開催されます。全国8ブロックより推薦を受けた11校に開催県の宮城からの1校を加えた12校の作品が上演されます。

全国高等学校総合文化祭は、文化部のインターハイとも呼ばれ、演劇をはじめ高等学校文化連盟のすべての部門における日頃の部活動の成果が披露される場です。本大会も約2万人を超える高校生の参加が予定されています。「集え伊達の地に、創造の短冊に思いをのせて」という「みやぎ総文2017」のスローガンのもと、実行委員会を中心に総力を上げて、仙台の地に高校生の文化の祭典が繰り広げられます。

高演協は、地区大会を経て都道府県の中央大会への出場が決まり、ブロック大会を経て全国大会に臨むという、コンクール形式をもって各大会が運営されています。演劇という表現形態のため、その審査には地区大会から専門家があたることになります。そのため、演出・演技、装置、音響・照明といった総合的な見地に立って、専門的な判断や講評を仰ぐことができます。皆さんのご覧になった演劇について、専門的な立場からご指導・助言をいただけるということが、演劇づくりの質的向上に大いなるヒントを与えてくれます。

演劇を志す生徒の皆さんにとっては、舞台上に新しい世界を創りだすことが大きな喜びです。単に上演するだけの喜びにとどまらず、より質の高い感動を観客の皆さんと共有することを目指しています。そのためには、身体訓練に始まり脚本制作・研究、演出・演技の工夫、舞台装置の作成等といった演劇創造に努力を惜しません。このような日常活動の積み重ねによって生まれた舞台が、花開こうとしております。生徒の真摯な活動を支え、応援していくことは私たちの使命だと考えています。

一方、全国大会において当初より「指導者講習会」を掲げているのも、高演協の姿勢の表れの一つです。指導者の養成は高校演劇の大きな課題です。初めて演劇部の顧問を引き受けたはみたものの、演劇に関する知識も経験も乏しく、指導方法もおぼつかないという話をよく聞きます。そのような方々のためにも、本大会では、様々な講習会・研修会を開催しております。演劇を志し、関心・意欲のある先生方や指導者が増えていくことを支援していくのも高演協の重要な役割の一つです。毎年「指導者講習会」に参加された先生方から、今後の演劇部の指導に大いに参考になったとのご意見を頂いております。

いよいよ第63回全国高等学校演劇大会が始まります。本大会を通して生徒及び関係者の方々との交流が深まり、文字通り演劇創造としての舞台が築かれようとしています。これまで高校演劇に取り組まれてこられたすべての方々のご尽力に感謝し本大会に臨みたいと思います。

結びに、数年も前から準備にご苦労をいただいている開催地宮城県の担当者をはじめ関係各位の皆様に厚くお礼を申し上げます。

(全国高等学校演劇協議会会長 東海大学仰星高等学校中等部・高等学校校長)

ようこそ宮城県へ

槇 秀成



第63回全国高校演劇大会（宮城）の開催にあたり、全国各地から参加される皆様方、高校演劇に格別の関心をお寄せいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

宮城県は松島、三陸海岸、蔵王連峰という美しい自然に囲まれ、古代には都から遠く離れた辺境の国でしたが、江戸時代に伊達政宗が仙台に城を築き城下町として発展しました。新田開発で生産した米を江戸で販売し、莫大な利益を上げたのです。当時、江戸で出回った米の三分の一は宮城県産だったと伝えられています。また、仙台は緑

に囲まれた美しい街並みの中を広瀬川が流れ、杜の都と謳われています。これも正宗が武家屋敷の植林を進めたのが始まりでした。有名な仙台七夕が始まったのもこの頃です。そして、今年は伊達政宗の生誕450年という記念の年となります。こうして発展してきた宮城県ですが、6年前の東日本大震災では沿岸部は大きな被害を受け、全国の皆様方から、物心両面にわたり心温かいご支援をいただきました。本当にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

さて、本大会は「集え伊達の地に 創造の短冊に思いをのせて」のテーマで開催される第41回高等学校総合文化祭、通称「みやぎ総文2017」の中で開かれます。全国2000校を超える加盟校のうち、全国8ブロックから選び抜かれた12校の上演をここ宮城県で開催できることは、私たちにとって大変光栄であり、大きな喜びもあります。震災の時に小学生だった子供達がいよいよ高校生となり、このような大会を運営できるまで成長しました。ご支援いただいた皆様への感謝の気持ちを込め、全国で高校演劇に携わる全ての方々の汗の結晶が見事花開くよう、心よりおもてなししたいと存じます。

最後になりましたが、この大会の開催にあたり、ご指導とご協力を賜りました全国高等学校演劇協議会の先生方をはじめ、本県の全国高等学校総合文化祭推進担当の皆様、そして全国各校の演劇に携わっておられる先生方に心から感謝申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

第41回全国高等学校総合文化祭演劇部門部会長（宮城県村田高等学校長）

「杜の都」仙台へ、ようこそ！

杉内 浩幸



「仙台は知ってるけど、宮城ってどこ？」という話をよく耳にしますが、「宮城」の由来は、奈良時代に、「多賀城市」に、国の出先機関が作られたことによります。坂上田村麻呂がアテルイと闘ったときの拠点です。「宮」の「城」ですから、由緒ある町なのです。「仙台」は「千代」栄えるからきたという説が有力で、伊達政宗が、千代→仙臺、と名付けました。「杜の都」と呼ばれる所以は、やはり伊達政宗が、植林を奨励したことによるそうです。青葉山城址から、仙台の街を眺めてみて下さい。

街全体がすっぽりと緑に覆われ、その間を「青葉城恋歌」で有名になった（誰も知らないか？）「広瀬川」がゆるやかに蛇行しながら流れています。仙台市を「楽都」「劇都」と呼ぶことがあります。千円で演奏が聴ける「せんくら」というクラシックコンサートイベント。また、ケヤキ並木が鬱蒼と茂り、昼でも暗い定禅寺通りでは、街中上げての「ジャズフェスティバル」が行われ、全国からプロ・アマのミュージシャンが集います。そして、今夏。全国から高校演劇ファンが詰めかけています。「劇都」仙台へようこそいらっしゃいました。皆様方を大歓迎致します。政宗が築いた城下町、整備されつつある震災遺構、そして復興の跫音とともに、短い時間ですが「みやぎ」の魅力を存分に味わって頂けましたら幸いです。

第41回全国高等学校総合文化祭演劇部門 代表委員

全國大会 出場校一覧		
学校名	作者名	作品名
千葉県立八千代高等学校	堤 泰之	煙が目にしみる
埼玉県立秩父農工科学高等学校	コイケユタカ	流星ピリオド
徳島市立高等学校	林 彩音／作、村端賢志／構成	どうしても縦の蝶々結び
宮城県名取北高等学校	安保 健	ストレンジスノウ
茨城県立日立第一高等学校	磯前千春	白紙提出
沖縄県立向陽高等学校	竜史／作「文化祭大作戦」より、吉澤信吾／潤色	HANABI
明誠学院高等学校（岡山）	螺子頭斬藏	警備員 林安男の夏
福島県立相馬農業高等学校飯舘校	矢野青史	－サテライト仮想劇－いつか、その日に、
兵庫県立東播磨高等学校	籏 博晶	アルプススタンドのはしの方
岐阜県立加納高等学校	白梅かのこ	彼の子、朝を知る。
北海道北見緑陵高等学校	北見緑陵高校演劇部	学校でなにやってんの
埼玉県立新座柳瀬高等学校	ピエール・ド・マリヴォー／原作、稻葉智己／翻案	Love & Chance !

講習会講師一覧

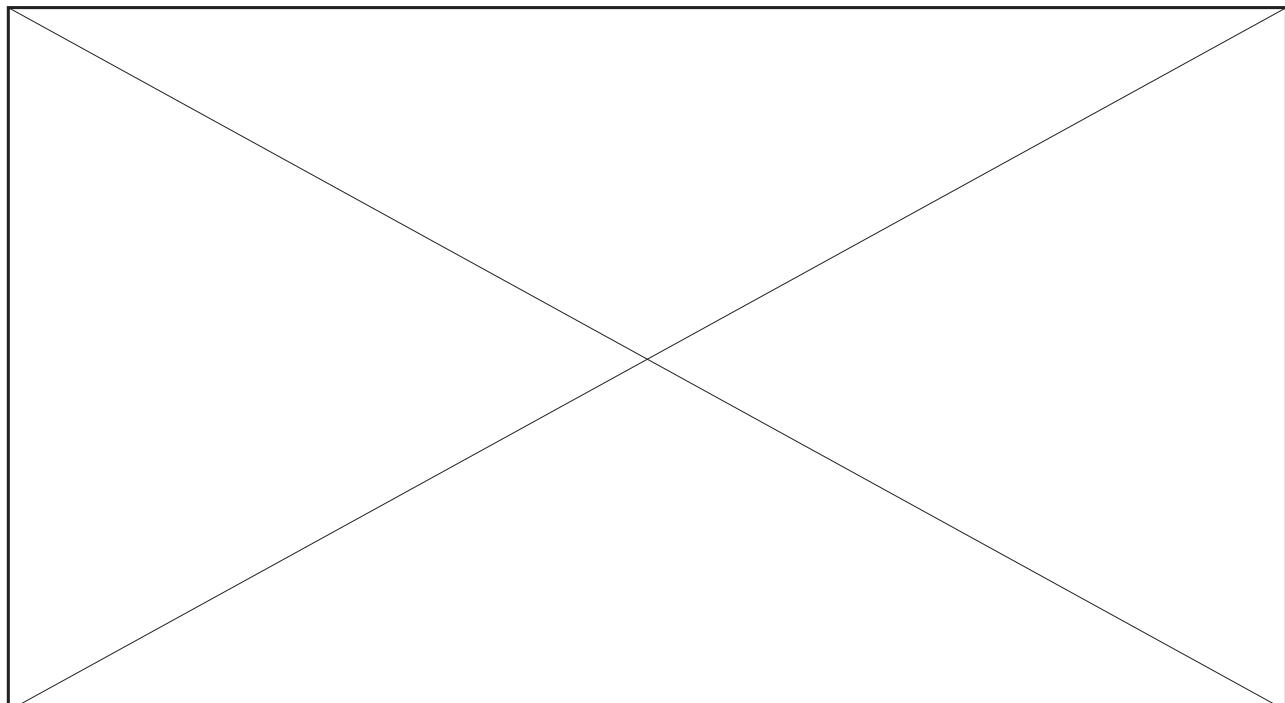
- 第1分科会 「演技／演出ワークショップ」 高泉 淳子 氏
 第2分科会 「演出ワークショップ」 佐川 大輔 氏
 第3分科会 「劇の場【コミュニケーションについて】」 藤崎 周平 氏
 第4分科会 「舞台技術講習」 伊藤 雅子 氏 土屋 茂昭 氏 乳原 一美 氏 藤田 赤目 氏
 第5分科会 「部活動」 来栖 俊行 氏 近藤三知子 氏 大窪 俊之 氏
 第6分科会 「生徒講評委員会合評会」

大会日程表

第63回全国高等学校演劇大会(宮城大会) 第63回全国高等学校演劇指導者講習会
第41回全国高等学校総合文化祭演劇部門

期間 2017(平成29)年7月29日~8月3日 会場 仙台銀行ホール イズミティ21

7月29日(土)		7月30日(日)		7月31日(月)		8月1日(火)		8月2日(水)		8月3日(木)	
9:00	準備	準備	準備	準備							9:00
9:30	名取北 操作確認 リハ(1)準備	徳島市立 操作確認 リハ(4)準備	生徒講評委員会のみ (宮城県のみ) 事前研修	加納 操作確認 リハ(9)準備	全国常任理事会 生徒講評委員会研修会	舞臺技術講習会	開場 9:10 開会式 9:30~10:10 準備	開場 9:10 上演(6) 沖縄県立向陽高校 9:40~10:40	開場 9:10 上演(1) 北海道北見緑陵高校 9:40~10:40	開場 9:10 上演(1) 北海見緑陵高校 9:40~10:40	9:30
10:00	リハ(1) 宮城県 名取北高校 9:50~11:10	リハ(4) 徳島市立高校 9:50~11:10	リハ(9) 岐阜県立 加納高校 9:50~11:10	北見 操作確認 リハ(10)準備	千葉県立八千代高校 10:40~11:40		休憩	休憩	休憩	休憩	10:00
10:30				リハ(10) 北海道 北見緑陵高校 11:30~12:50	昼食休憩		昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	10:30
11:00	相馬農業 操作確認 リハ(2)準備			リハ(5) 沖縄県立 向陽高校 11:30~12:50	昼食休憩		昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	11:00
11:30				リハ(6) 茨城県立 日立第一高校 13:40~15:00	昼食休憩		昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	11:30
12:00	福島県立相馬 農業高校飯館 校			リハ(7) 明誠学院高校 15:20~16:40	昼食休憩		昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	12:00
12:30	11:30~12:50			リハ(8) 兵庫県立 東播磨高校 17:00~18:20	昼食休憩		昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	12:30
13:00	仕込み調整 昼食休憩 (宮城県のみ) 事前研修			リハ(9) 千葉県立 八千代高校 15:20~16:40	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	13:00
13:30	仕込み調整 昼食休憩 (宮城県のみ) 秋田農工 操作確認 リハ(3)準備			リハ(10) 茨城県立 日立第一高校 13:40~15:00	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	13:30
14:00	リハ(3) 埼玉県立秩父 農工科学高校 13:40~15:00			リハ(11) 埼玉県立新座 柳瀬高等学校 13:40~15:00	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	14:00
14:30				リハ(12) 千葉県立 八千代高校 15:20~16:40	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	14:30
15:00	舞台調整 生徒交流会リハ準備			リハ(13) 兵庫県立 東播磨高校 17:00~18:20	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	15:00
15:30				リハ(14) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	15:30
16:00	生徒交流会 リハーサル 15:30~17:00			リハ(15) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	16:00
16:30				リハ(16) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	16:30
17:00	開会式リハ準備			リハ(17) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	17:00
17:30				リハ(18) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	17:30
18:00	開会式 リハーサル 17:10~18:40			リハ(19) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	18:00
18:30				リハ(20) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	18:30
19:00	舞台点検 清掃			リハ(21) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	19:00
19:30				リハ(22) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	19:30
20:00				リハ(23) 舞臺技術講習会	舞臺技術講習会		休憩	休憩	休憩	休憩	20:00



特集

全国大会出場校による

① 善く生き、善く死ぬ

上演するのは「煙が目にしみる」という名作。舞台はお葬式です。人の死を扱うわけだから当然悲しい。けれど悲しいだけではなく随所に笑いがちりばめられ、最後には隠された想いが明かされる。観終わって「人間っていいな」と思ってくれたら嬉しいです。人の優しさや、大切な人を想う気持ちが皆様に伝わるような舞台にしたいです。最後の大舞台、大切に精一杯頑張ります。

(演劇部一同)

千葉・八千代高等学校



② 精一杯頑張りますよ！

^_~
(^_^)<流星ピリオド
(^_~)
レ_レ)

草 >

(演劇部一同)



埼玉・秩父農工科学高等学校

⑤ 「 」

この原稿は白紙提出されました。

(磯前 千春 (作・演出))

茨城・茨城県立日立第一高等学校

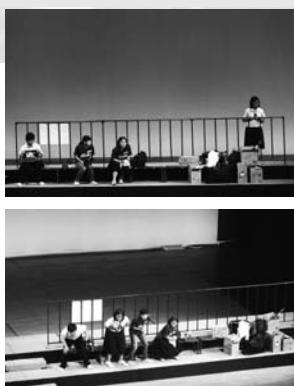


⑨ 「甲子園球場」

↑
アルプス
スタンドの
はしの方

(ヒガハリ演劇部)

兵庫・東播磨高等学校



⑥ 花火は一瞬で終わるから美しい

劇って、どんなに練習しても完璧に同じものを上演できることはないですよね？高校演劇は頑張って練習しても大会で選ばれなければ、もう二度とオリジナルが上演されることはないかと思います。一回一回が唯一無二。上演が終われば、また新しい劇が始まります。そんな僕さがHANABIと同じなのかなど思いこのタイトルにしました。

ロミオとジュリエットの劇をやろうとする高校生達の劇です。いろんな学校が既にやっていて、またか？って思われるんだろうなと思いつつ……。変化球なしのど真ん中の直球をどれだけ速く投げられるか、それだけのために練習しています。

(演劇部一同)



⑩ 朝だよー。みんな、目を覚ましてー。

この脚本の舞台は夏です。お盆です。花火です。祭りです！お囃子の中にまぎれ込むのはからあげ、冷やしキュウリ、焼きそばを売る声。そして現代に染まる私たち。

朝が来て夜が来て朝が来る。その普遍的なサイクルは誰もが持つ事実。

彼の子も、朝を知るのでしょうか。

(白梅かのこ)



岐阜・岐阜県立加納高等学校

出場校から届いた「舞台にこめるメッセージ」を届けさせていただきます。この演劇創造を手にとって読んでくださっているみなさんに、少しでも舞台の雰囲気や上演にむけた熱い意気込みが舞台写真やメッセージから届けばと思います。上演される各校のみなさんは、はつらつとした演技で観客のみなさまを魅了していただきたいと思います。

最後になりましたが、今回の特集のために出場校のみなさまには、貴重な時間を割いていただきました。各校の演劇部員のみなさまに心から感謝申し上げます。

(上演順)

「舞台にこめるメッセージ」

③ 私は制服のリボンをうまく結べない。

昔からそうだった。制服のリボンを結ぶと、どうしても総の蝶々結びになってしまう——。

この作品は、顧問の先生のご指導のもと、部員たちで取材や台本作りをし、みんなで悩みながら作り上げた、このメンバーだからできた舞台です。多くの方々の応援・ご協力に感謝し、誠実に、素直な気持ちで舞台に立ちたいと思います。よろしくお願ひします。

(演劇部一同)

徳島・徳島市立高等学校



④ あの日の雪、みんなどんな気持ちで見ていたんだろう

ストレンジスノウ・・・季節外れの雪。奇妙な空から降る、奇妙な雪。彼女たち、彼らの目に映った、あの雪は、どんな雪だったのだろう。

沢山の想いをのせて、この「ストレンジスノウ」精一杯演じます。

(山田 春陽)



宮城・名取北高等学校

⑦ 「魂のゴングを鳴らせ！」

「魂のゴングを鳴らせ！」は我が明誠学院演劇部のスローガン。

今回上演致します「警備員林安男の夏」でも、「チャレンジする魂」は重要な言葉。暑い夏。熱い仙台で。客席に熱い魂の波動を届けることができるよう、全力で上演します！

That's SPIRIT!

(三宅 悠生)



岡山・明誠学院高等学校

⑧ たどりついた場所で咲きはじめた花たちは…

私たちの学校が元の場所に戻ることになった「近未来」の「その日」。次第に片付いていく教室。日常を過ごした学舎は、やがて跡形もなく消えてしまうだろう。そんな中、転校を選んだ3人の生徒たちの胸の内は…。

『—サテライト仮想劇—いつか、その日に、』
復興が進む影で戸惑う「私たち」の「その日」の物語です。ぜひご覧ください。

(演劇部一同)



福島・福島県立相馬農業高等学校飯舘校

⑪ キモくななければ、何もできない。

10年前、緑陵演劇部は部員1人でした。その時、助けてくれたのが放送局です。そして去年、放送局が部員1人になった時に、演劇部がこれまでの感謝とエールを込めて作ったのが「学校でなにやってんの」です。今年、放送局に新入部員も入り、もう思い残すことはないんですが、頑張ります！

(演劇部一同)



北海道・北見緑陵高等学校

⑫ お客様に楽しんで頂けるように頑張ります！！

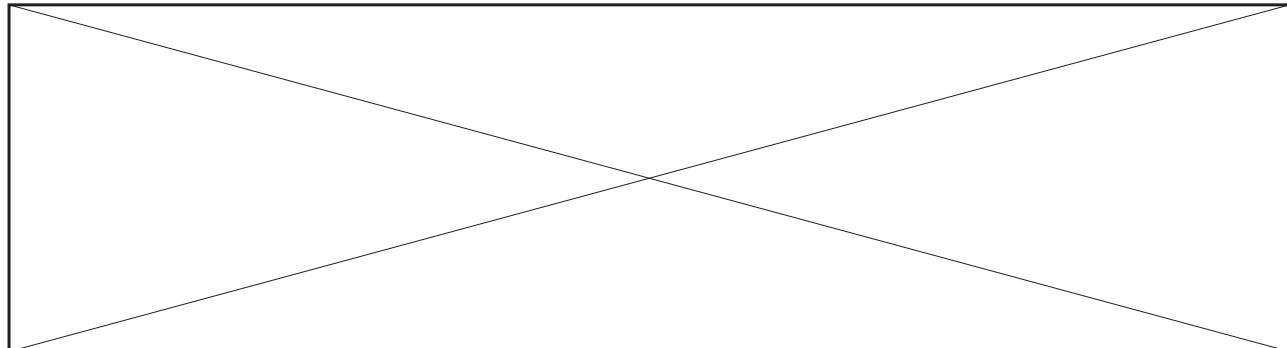
身分や財産が人生を大きく左右していた時代。身分違いの恋の罠に落ちてしまった4人は悩みます。でも、その恋が本当に運命だと思えたなら、恋を成就させるために必要なのは「素直さ」なのかも知れません。

『Love & Chance!』一愛と偶然。ただのハッピーエンドでは終わらない、ハッピーエンドの向こう側にある「本当の幸せ」をお届けします！！

(小磯 帆奈)



埼玉・新座柳瀬高等学校



第11回春季全国高等学校演劇研究大会 (フェスティバル2017)

第11回春季全国高校演劇研究大会（フェスティバル2017）は、初の中部日本ブロックでの開催となる岐阜県大垣市民会館で行われた。春季大会も10年を超えて、次の10年へ向け新たな流れを考えながらの大会となった。全国大会の生徒講評委員会は、2003年福井県鯖江大会での試行より、中部日本ブロックの古くからの取り組みを元に2005年八戸大会より正式に立ち上げた。今回の大垣大会でも地元岐阜の提案で、生徒講評委員会活動を行うこととなり成果を上げることができた。高校生が高校生の視点で仲間の舞台を観ながら客席で受止めたことを表現するこの活動が、重要な表現活動であることを再認識できた取り組みであった。少ない時間の中での活動となつたが、合宿型ではない活動でも十分成果を上げることができた。講評文作成ではなく、やはり生徒同士の議論が重要であることを示すことができた点で非常に注目すべき活動となつた。審査をし、順位づけをしない春のフェスティバルにふさわしい評価の形と言えるのではないだろうか。

春季大会は、各ブロック大会から推薦された優秀な作品を年度内開催で上演するという視点でも重要な大会である。夏の全国大会と比較すると、オリジナルキャストでの上演となることもあわせ、夏の作品がバランスの取れた作品だとすると、春は爆発力がある作品だと言えるのではないか。試行の2006年春の自由劇場の頃から一貫してそう感じている。

今大会では観客動員も連日満席近い数となる盛況であった。試行からの4年間、劇団四季自由劇場で毎日多くて100名程度だった。なかなか地元からの動員が進まない中、伸び悩む動員数にこの時期に開催することの苦しさを感じながら、ここまでどうにかやってくることができた。その頃のことを思うとここまで継続できること、仲間に支えられて次の10年に向けて展開できること、友情と情熱で育まれたこの大会がさらに発展することを願ってやまない。次の目標は春季大会を真の全国大会とするべく全ブロックで行うこと。ブロッククローテーションの確立にあると感じている。春の研究大会の位置付けをより一層高いものにしていきたいと考えている。次の大会は神奈川県横浜市。連日の満席を期して、みなさんの参加を待っています。

最後にもう一つ。2009年に自由劇場が使えないことが明らかになり、緊急に会場を探さなくてはならなくなつた夏。かねてより開催の意思を示していた岡山県の柴田利明先生とこのような緊急時にお願いできる可能性があった北海道の影山吉則先生に呼びかけた。お二方とも緊急にしかし、『気軽に感じで』対応していただくことができ、岡山県倉敷・北海道伊達の2つの会場を確保して新たな取り組みを行うことができた。実際には急な取り組みとなり、お二方をはじめ、岡山県・北海道には本当に大変な苦労をかけたが、高校演劇にかける熱い情熱と友情によってどうにか継続できた。その倉敷大会の事務局長だった、柴田利明先生が、残念ながら病に倒れ一足早く旅立ってしまった。同じ年代で活躍する仲間であつただけにまだ早いという思いが先に立つ。2012年の夏に札幌で行われた日本生物教育学会全国大会の研究協議の後、わざわざ近くに寄つて来て「先生、本当に生物の先生なんだね。」とそれだけ話かけてきた。あの飄々とした風貌とこやかな笑顔が忘れられない。まだまだ、先生の作品を見る機会があると、飲める機会があると思いつ込んでいただけに未だ信じられない思いでいます。ここに哀悼の意を表します。いつかまた、今度は向こうで話ができると信じています。合掌。

第11回春季全国高等学校演劇研究大会（フェスティバル2017）上演校一覧

和歌山県立串本古座高等学校	幸と歩	望月慧佳 作 出口琴子・谷口克朗 補作
新潟県立新潟工業高等学校	誰が為に鐘が鳴る～インダストリアル・マーチ2～	引場道太と新工放送部ドラマ班 作
専修大学松戸高等学校	ハブルネット	田村和音美 作
城北高等学校	かけの歌	ぼぶ☆れのん 作 城北高等学校演劇部 潤色
北海道新篠津高等養護学校	どんぐりの学校	山田勇気 作
青森県立青森中央高等学校	ジンコちゃんの世界	畠澤聖悟 作
愛知県立名古屋南高等学校	Take Me Deeper!!!	名古屋南高校演劇部 作
山口県立光丘高等学校	みえない、いと	緋岡 篤 作
愛媛県立松山東高等学校	シヤワセタウン留学記	越智 優 作
岐阜県立池田高等学校	ワンダーランド	伊藤貴晴 作



和歌山県立串本古座高等学校



新潟県立新潟工業高等学校



専修大学松戸高等学校



城北高等学校



北海道新篠津高等養護学校



青森県立青森中央高等学校



愛知県立名古屋南高等学校



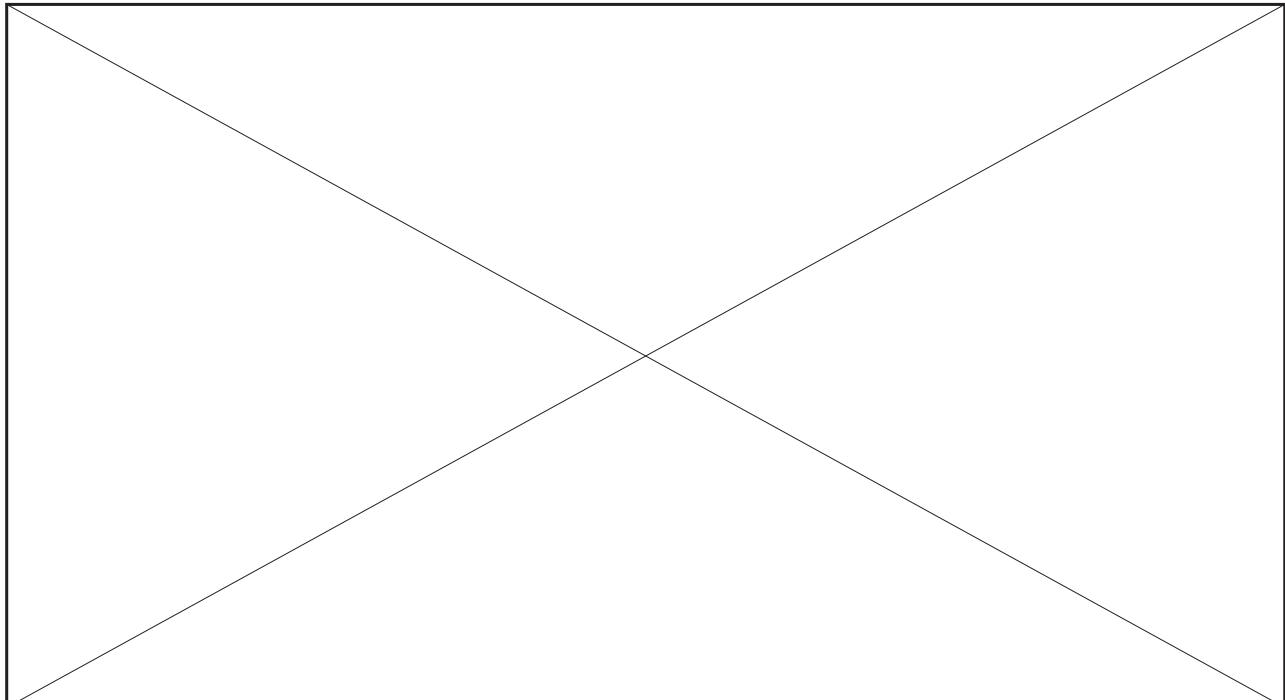
山口県立光丘高等学校



愛媛県立松山東高等学校



岐阜県立池田高等学校



都道府県だより

山形県

大人はたいへんだ。

五十嵐康博

ヒトの左横顔に似たかたちの山形県は、現在加盟校数29校、山形・村山最北・置賜・庄内の4地区に分かれて活動しております。加盟部員数は全県で約400名。私が高校教員になった頃は500人を超えていたように記憶しています。子どもの数が減っていることに加え、多様化とともに高校生の嗜好が変わってきたのかなと感じています。

かつては（自分が高校生だった四半世紀前～15年前）、あまり勧誘を頑張らなくても部員は常に20名前後いましたし（とある女子高勤務時代は50人を超え、顔と名前を把握しきれなかったこともあります）、定期公演を開けばどの学校さんも600人収容のホールで立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。現在は・・・と書いていくと泣けてくるので懐古のくだりはこの辺にしておきます。

今年度（平成29年度）は、久々の「お祭りイヤー」と呼んでもよいでしょう。夏に南東北エリアで全国高等学校総合体育大会が開催され、続いて全国高等学校総合文化祭がお隣の宮城県で開催されます。南東北インターハイの総合開会式（天童市にて開催）内で公開演技が行われますが、置賜農業高校演劇部さんにご出演いただく他、山形南高校映演部諸君に裏方業務をお願いしております。また冬には大きな節目である第50回東北大会が山形市・山形市民会館にて村山最北地区・天童高校さんを主管に開催されます。

私は県の事務局長をお引き受けして2年目になりますが、当然いずれも深くかかわることとなります。数年前まで「山形・宮城・福島さインターハイ来るんだぞ。いやー、運動部の先生大変だずねー」と他人事として呑気に構えていた私ですが、先代から事務局長を引き継いだとたん、キラーパスのようにもれなくセットで私も公開演技総合コーディネーターの一人としてのお仕事をお引き受けすることとなりました。実行委員に入ってみると、ここまで壮大なスケールで計画が進んでいたとはつゆ知らず、内心びびりました。しかし、私の恩師である本間正史先生と共に仕事ができる喜びをかみしめながら諒々と進めてまいりたいと思います。

自分語りで恐縮なのですが、私の人生はイベントづいているなあと思います。高校2年生のときに「べにばな国体」が本県で開催されて、動員がありました。開会式後、とある県の選手団を控え所まで誘導する係だったと思います。当時生まれて間もない新品種「はえぬき・どまんなか」を使ったお弁当を毎回もらえるのが楽しみで参加していました。余ったお弁当を友人と奪いあったり、開会式の時には、有名な「事件」を眼前で目撃したりしながら「大人は大変だなあ」と呑気に思いつつ無我夢中で仕事をしました。

教員になって2年目、山形開催の東北大会を経て、全国高等学校総合文化祭山形大会が開催されました。錚々たる顧問の先生方に混ざってそこに関わることは私の財産です。総合開会式でわちゃくちゃになりながら走り回り、それが終わると演劇部門の方にも顔を出し、計時をお手伝いした記憶があります。懐かしいですね。まだ23歳だった私の、人生二度目の「大人は大変だなあ」です。まだ呑気なもんですね。今や身に沁みてあの時代の先生方のご苦労はいかばかりだったろうと胸が熱くなります。

あれから年を重ねて四十路を超えた今、自分がその「大人」になり、この「お祭りイヤー」を迎えることができることは幸せなことだと思っています。山形には美味しいお酒と食べ物（つや姫、米沢牛、蕎麦、ラーメン、フルーツ…枚挙に暇がありません！）がたくさんありますし、全市町村に湧き出る温泉が皆様をお待ちしています。東北地区のみならず全国の先生・生徒諸君に東北大会へお越しいただければ幸いです。

（山形県高等学校演劇協議会事務局長）

長野県

長野県といえば、

来年は全国大会！

日下部英司

長野県には、来年（2018年）の夏、「第42回全国高等学校総合文化祭2018信州総文祭」が巡ってきます。部門大会である第64回全国高等学校演劇大会が、長野県上田市の上田市交流文化センター「サントミューゼ」で開かれます。今、長野県の高校演劇はその準備を急ピッチで進めている真っ最中です。

全国大会を迎えるということになれば、どの県でも同じでしょうが、私たちもご多分に漏れません。初めてのことに右往左往し、始まってみれば当初の予定や聞いていた話と違い、諸事情で諸方面に貴重な人手は取られ、広い長野県（日本の都道府県の中で四番目に大きな県ですから）では思うように全顧問や生徒を動員できず、どう見ても無理難題だろ！と思う事態がこれでもかというくらいに降りかかり、お金がなければ解決できないことを知恵で解決しなさいと言われ続け、事務局長の依田先生は、夜は夏でも寒い学校に泊まり込んでいるわけです。

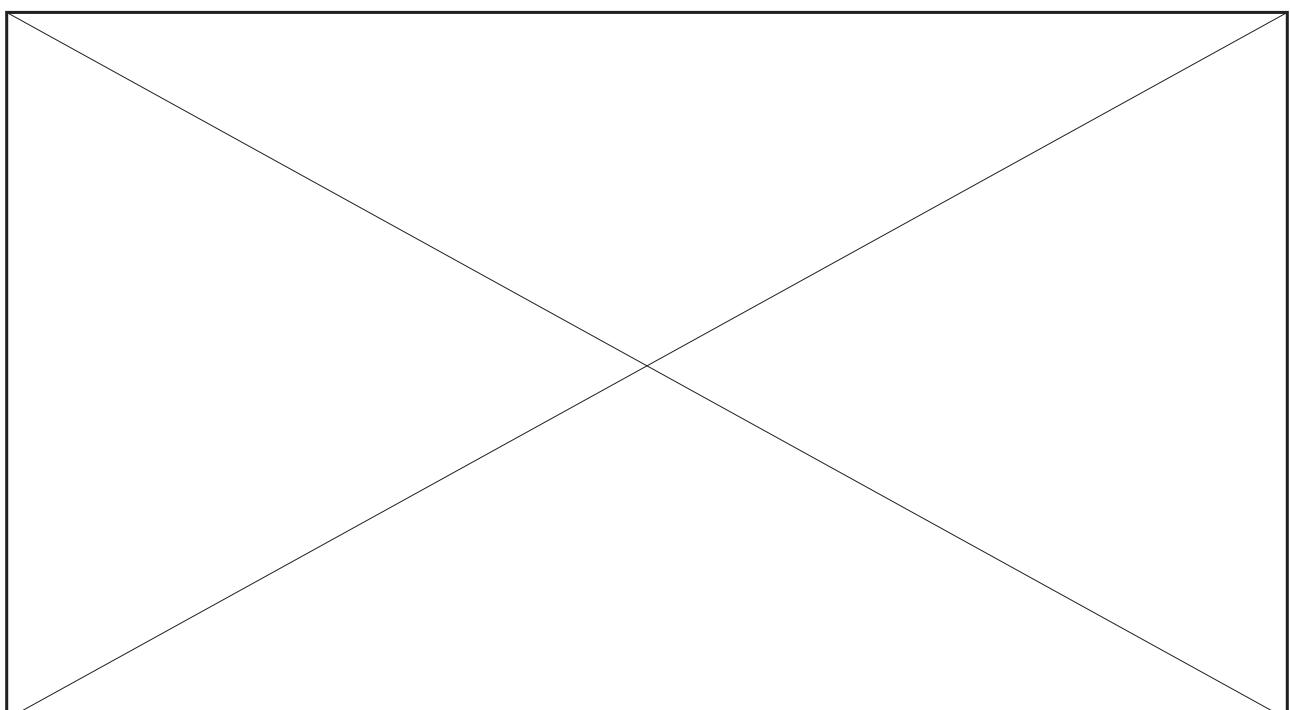
こんな話を書いてしまえば、きっとどこかに差し障りがあるかも知れませんが、心境的には、「お叱りをいただいたって、そんなの…別に。」っていうところでしょうか。

そしてどうにもならないことについては、あきらめる覚悟も（ここでは言えない危ない橋を渡る覚悟も）、事務局長の依田先生と密かにしているところなのです。

加えて、全国大会の翌年度には関東ブロック大会が回ってくるという、なかなかの当たり年ではあります。その会場の確保にも頭を悩ませている真っ最中なのです。

もちろん顧問一丸となって分担し合ってはありますが、たくさんの顧問の皆さんと話し、作業にあたる機会が増えました。その最中で、理事長の私が一番感じるのは、とりわけ若い世代の顧問が、実務や現場の主力になっているということです。そして、言うまでもなく、自分から名乗りを上げ、その顧問と一緒に現場に臨んでいる高校生の諸君がいることです。

おそらく、全国大会の運営は、長野県の顧問の中で世代交代が順当に進んでいく契機の一つなのだろうと思います。全国大会がそういう機会になるのだとすれば、この忙しさや辛さも、ある程度はガマンすべきもの、と思えてくるわけです。



もちろん、現場の作業を仕切ることと、演技や演出の技を修得することは必ずしも同じではありません。しかし、私たちの作業はいつだって、教員と生徒とが一緒にならなければ出来ないことをするものです。ステージ作りだって同じこと。彼らの力が切り拓く新しい高校演劇の地平を、私は予感するのです。

だれかが夢中になって取り組んできたことが、前の代から受け継がれ、次の代に渡されていくときは、改まってそれと意識するのではなく、こんな風に、何かの作業を一緒にする中で、いつの間にか行われているものなのかもしれません。

本当に、「しづかにわたすこがねのゆびわ」です。

こうして長野県では、来年、2018年の全国大会に皆様をお迎えする準備に追われる毎日です。思うようにいくことばかりではありませんが、それも世の中の現実というものでしょうか。私たちはいつだって、今あるところからスタートする他はないのです。

どうかみなさん、多少のことには目をつぶっていただき、来年の夏、長野県で開催されます華やかな舞台に、全国からご参集ください。

(長野県高等学校演劇連盟理事長)

兵庫県

10年ぶりの近畿総文開催 石井美佐子

兵庫県の事務局長を担当させていただき3年目となります。兵庫県の事務局長は任期3年、各支部輪番制となっています。つまり、私にとって今年が県事務局長最後の年。そんなタイミングで、この度、都道府県よりの原稿依頼をいただきましたので、この3年間を振り返ってみると、特筆すべきは、なんと言っても、昨年11月に開催された、第36回近畿高等学校総合文化祭兼第51回近畿高等学校演劇研究大会でしょう。

近畿高等学校総合文化祭は、近畿2府4県に、三重、福井、鳥取、徳島の4県を加えた10府県で開催されていますので、兵庫県での開催は2006年以来、10年ぶり。そして、近畿総文が三重、福井、鳥取で開催された過去3年は、全国大会の予選となる近畿大会は、近畿総文とは別の日程で、12月に開催されていましたので、「近畿総文兼近畿大会」という形態での開催も久しぶり。さらに、会場となった神戸文化ホールも初めて使わせていただくホール。とにかく不安要素だらけで、若輩者の私には荷が重すぎて、途方にくれている期間の方が長かったかもしれません。しかし、ありがたいことに経験豊かな先生方の応援や、運営の中心になってくださった神戸支部の先生方の機動力、会館スタッフの方々の細やかなサポートに助けられ、また、「近畿はひとつ」という合言葉の下、(各府県にそれぞれ独自の「文化」がある中)兵庫県の「文化」にご理解ご協力いただきました各府県代表校のみなさまのおかげで、なんとか無事に、幕を下ろすことができました。本当にありがとうございました。

そんな10年ぶりの「近畿総文兼近畿大会」を経て、今年度の全国大会(宮城大会)に近畿ブロック代表として出場しますのが、兵庫県立東播磨高校「アルプススタンドのはしの方」。顧問であり、作者でもある籾博晶先生は、10年前はまだ県立長田高校演劇部に在籍する高校生でした。兵庫県では、優れた創作脚本に贈られる賞「創作脚本吉山賞」があります。高校演劇台本の書き手の育成を目的として創設された吉山賞は、新人賞としての意味合いをもっており、受賞のチャンスは顧問、生徒ともに1回限りとされています。籾先生は、高校時代にも優れた台本を書き、既に吉山賞を受賞しているのですが、10年の時を経て、顧問として、史上初の「2度目の吉山賞」を受賞、そして全国大会への出場まで果たしてしまうという、なんとも劇的な展開を遂げたのです。

ところで、今年度、兵庫県高等学校演劇研究会中央合同発表会(県大会)は、第61回大会となります。兵

兵庫県高等学校演劇研究会の設立は1956年だそうです。つまり、2017年は60周年記念の年だったのですが、特に何もしませんでした。そのかわり（？）、1958年に立ち上げられた阪神支部が60周年記念誌を作成しました。阪神支部だけでなく兵庫県の高校演劇の歴史とも言える膨大な資料と寄稿文から成る記念誌は、兵庫県の高校演劇を支えてきた方々の熱い思いの現れでもあり、当初の計画を超えて250ページにわたる超大作となりました。そんな兵庫県の高校演劇の節目の年に事務局長をしているのも何かのご縁。荷の重い3年間でしたが、面白い3年間もありました。普通の顧問に戻る日を楽しみに、あと少し、頑張ります。

福岡県

福岡県の今、これから

小原 雅之

福岡県は、「福岡」「北九州」「筑豊」「筑後」と四つの地区に分かれています。その中でも北九州地区は北九州芸術劇場、筑後地区はサザンクス筑後の御協力をいただいて、充実した行事を開催しています。また、地区大会でも福岡地区はももちパレス、筑豊地区は国の有形文化財である嘉穂劇場で実施するなど、それぞれの地域に溶け込んだ運営を行っています。その中で主だった行事をいくつか紹介したいと思います。

【芸術劇場講習会】…これは毎年ゴールデンウィークに北九州芸術劇場をお借りして実施しています。前年度の地区大会、県大会で優秀な成績を収めた学校にモデル上演をお願いしています。ここ最近は他県の高校にも上演をしていただいてます（今年は大分豊府高校に来ていただきました）。客席数が136席しかなく、毎年満席になる行事となっています。観に来る生徒の講習でもありますが、上演する側も劇場スタッフの方のアドバイスのもと「仕込み→リハ→本番→ばらし」を行い、充実した講習会となっています。

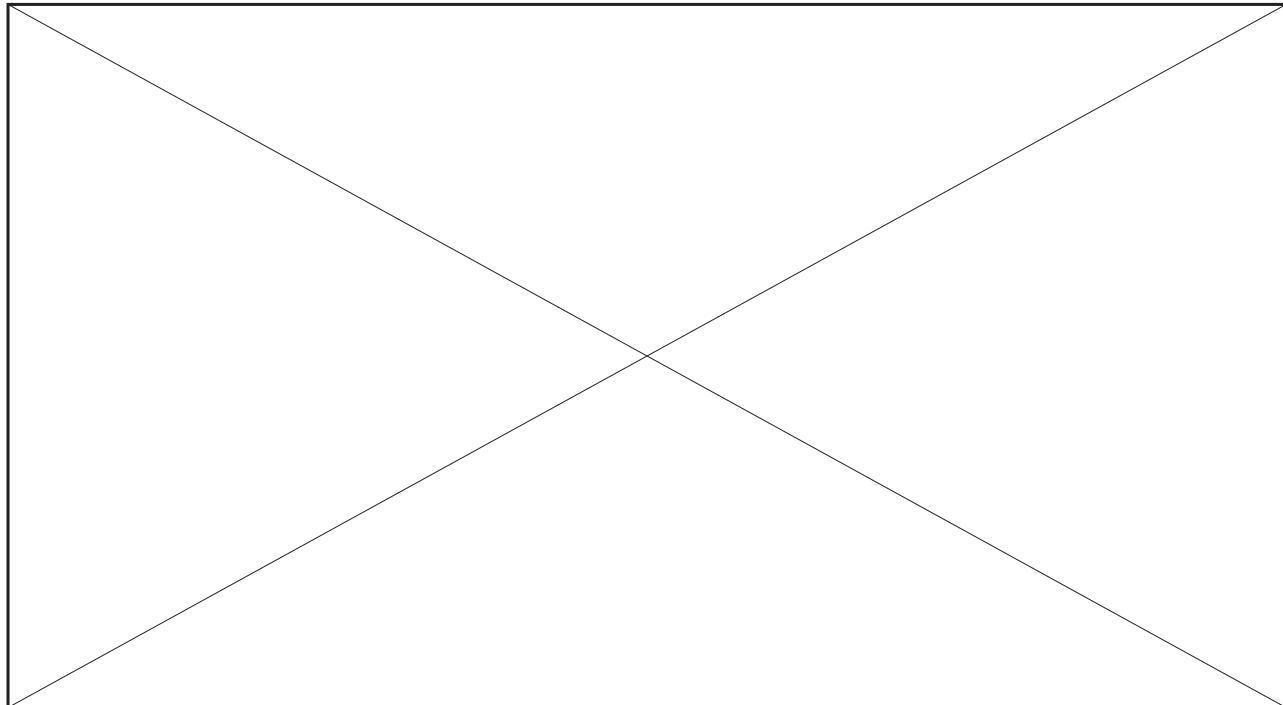
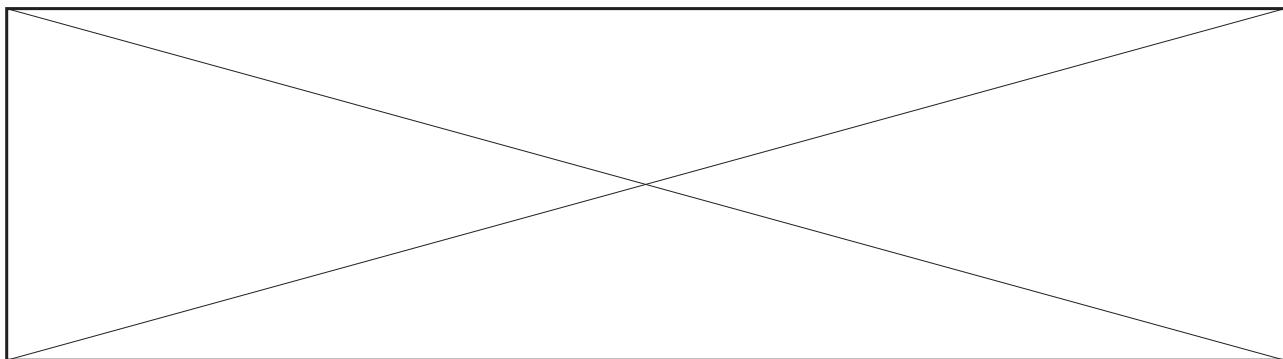
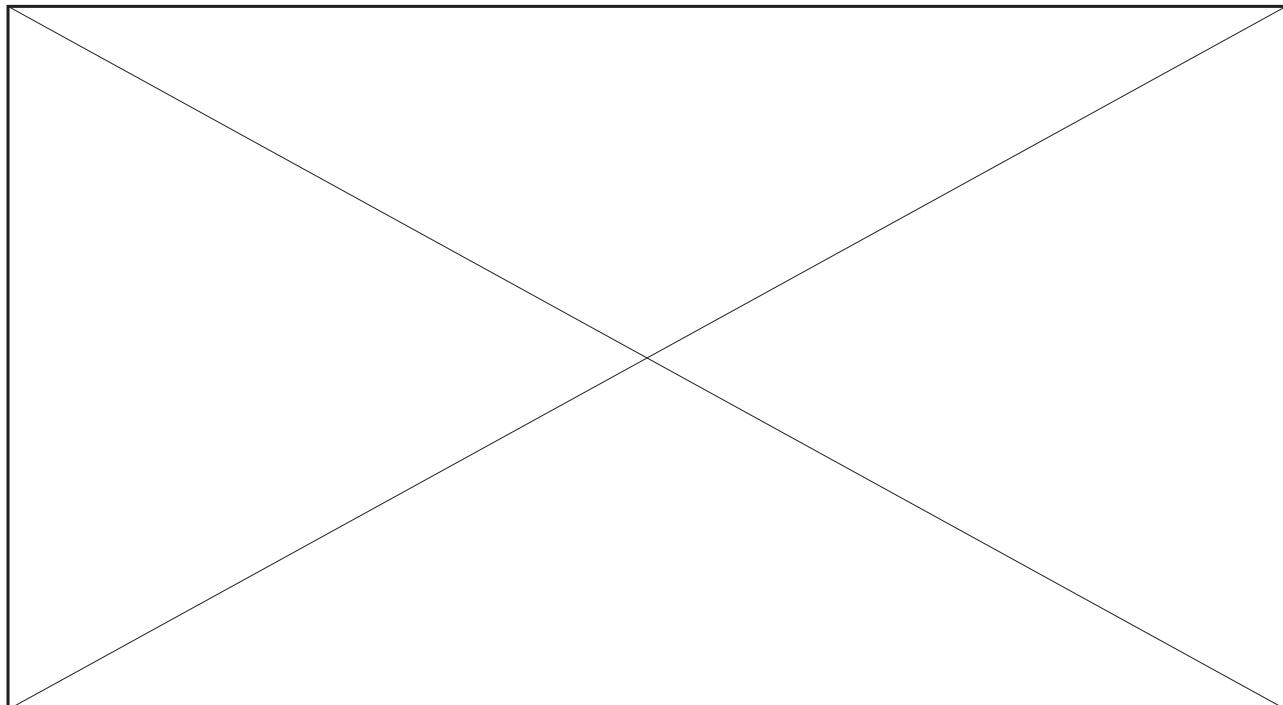
【戯曲講座】…各地区で実施しています。地元で活躍している劇作家や、長く高校演劇の大会で作品を発表している顧問の先生など、それぞれのスタイルで複数回にわたりて生徒を鍛えています。福岡県は大会で創作を発表することが多く（ほとんどが生徒創作です）、九州大会や全国大会で本県の生徒創作が上演できるよう、今年も奮闘しています。

【夏期ゼミ】…夏休みを利用して各地区で実施しています（3日間のゼミです）。北九州地区は芸術劇場、福岡地区はももちパレスのスタッフが指導してくださるのもありがたいことです。生徒は地区大会の上演に向けて様々な知識を得ていくと同時に、宿泊等を通じて他校の友人との交流も生まれます。横の結びつきが強くなる行事です。

平成26年に久留米大学附設高校が全国大会で最優秀賞を受賞して以来、「フセツに続け！」とばかり、県大会では質の高い作品が上演されています。九州ブロックの中では最も加盟校数が多く、福岡の未来は明るい！とまとめたいところですが、今後のことを考えると心配な点もあります。その中でも早急に対策を立てなければならないのは、地区による格差の是正についてです。現在、地区による加盟校数に極端な差が生じています。最も加盟校の多い地区は30校、少ない地区が5校とその差はなんと「6倍」にもなっています。これは運営に支障が出るだけでなく、少ない学校は他校の上演を観ることができないという状況にもつながっています。抜本的な変更をしなければならない時期にきているのかもしれません。

来年度の九州大会は福岡県に回ってきます。また、いつかは春フェスが開催できればなあと、ぼんやりと考えているところです。そのためにも福岡県の高校演劇が今以上に盛り上がるよう、様々なことを仕掛けたいと思います。

（福岡県高等学校芸術・文化連盟演劇部会専門委員長）




事務局通信

平成28年度以降の理事会開催スケジュールの変更を受けて、第4回常任理事会及び第3回理事会を、春季全国演劇研究大会開催期間中に、岐阜県大垣市民会館で行いました。

昨年の全国（広島）大会は、ホテルの収容人数や構造の問題、またインターネットハイヤ各種国際会議の実施と重なり、運営の難しいものとなりましたが、現地スタッフの先生、生徒の皆さんの努力により、無事に終了することができました。はがきによる申し込みは900名に達したところで打ち切り、当日はロビー内にモニターを2台設置して対応するとともに、ロビー内の一般観客と関係者の動線を分けることにより円滑な誘導を行うことができました。また、新たに加えた舞台技術講習会は参加者に非常に好評でした。

今年の全国（宮城）大会は、仙台市内から少し離れた泉区で行われますが、地下鉄で中心地から一本で行けるため、利便性の高い大会といえます。今回は分科会のうち舞台技術講習会を120分で設定し、内容の充実を図ります。通常講習会は90分で設定されていますが、理事会に提案され承を得ております。分科会もここ数年、生徒講評委員会分科会が設定され、また審査員の専門分野を活かした分科会を設定する等、さまざまな取組みが行われています。今後

とも、参加者のニーズもふまえて、さらなる活性化をしていきたいと考えています。

春季全国大会については、10年目の総括をふまえて、自由劇場以後現在のかたちで初の首都圏開催となる神奈川大会に向けて、準備が進められています。

全国高演協の規約について、副会長の扱いが現状と合っていないこと、嘱託コーチの大会参加に係る記述の文言の整理が必要であること等が指摘されていることから、今後修正を含めて検討することとします。著作権に係る議案については、修正案が中国ブロックから提出され、従来の事務局案、四国ブロック案とともに協議しました。全体としては、記述の明晰性等から中国ブロック案を軸に各都道府県で再度協議いただき、7月の全国理事会で決定していく流れとなります。

春季全国大会のインターネット配信については、理事会で承認された場合は、神奈川大会で試行されますが、肖像権の問題、生放送のリスク等、懸念材料も指摘されており、十分な議論が求められます。

協賛団体には、この度金井大道具株式会社様が加わり、あわせて講習会にも参加していただきます。では、夏の仙台でお会いいたしましょう。

（事務局 三上 実）

■■■■■ 平成29年度 全国高等学校演劇協議会加盟校数一覧 ■■■■■

地区	都道府県	加盟校数	地区	都道府県	加盟校数	地区	都道府県	加盟校数
東 北 (204)	北海道	102	中部日本 (263)	富 山	20	四 国 (65)	香 川	14
	青 森	30		石 川	22		高 知	19
	秋 田	23		福 井	14		德 島	16
	山 形	29		愛 知	136		愛 媛	16
	岩 手	28		岐 阜	44		福 岡	65
	宮 城	45		三 重	27		佐 賀	10
	福 島	49		和 歌 山	13		長 崎	18
関 東 (905)	茨 城	62	近 畿 (281)	京 都	29	九 州 (200)	熊 本	32
	栃 木	40		奈 良	22		大 分	12
	群 馬	43		大 阪	112		宮 崎	17
	千 葉	115		兵 庫	83		鹿 児 島	25
	埼 玉	117		滋 賀	22		沖 縄	21
	東 京	226		鳥 取	20			
	神 奈 川	130		島 根	14			
	静 岡	44		岡 山	46			
	山 梨	22		広 島	38			
	新 潟	46		山 口	24			
	長 野	60						
							合 計	2,162

優秀校東京公演について

優秀校東京公演は、8月26日(土) 27日(日)に国立劇場（東京都千代田区）で開催されます。全国大会で推薦された4校の上演の他に、東京都から特別上演が1校、演劇以外にも、日本音楽と伝統芸能の発表が行われます。入場に際しては、開催日ごとに入場引換券が必要です。

観覧ご希望の方は「観覧希望日と希望枚数」を明記し、「82円切手を貼った返信用封筒」(7.5×19cmのチケットが折らずに入るもの)を同封のうえ、「8月10日(木)必着」で下記宛先までお申し込みください。1申込みにつき両日合わせて6枚まで申込可能です。

《宛先》

〒136-0074 東京都江東区東砂7-19-24

東京都立東高等学校内 優秀校東京公演 申込受付係

宮下 克士 宛

**NHK「青春舞台」について**

今年も9月初旬にNHKテレで「青春舞台」が放映されます。(詳しい日程については後日お知らせします。)

昨年同様、出場校のいくつかと、全国大会（宮城）の模様を取材していただき、最優秀校の上演映像を含む2時間番組を予定しています。

今年も、皆さまのリクエストのおかげで、「青春舞台2013」の再放送が行われました。BSからEテレに変わり、放送時間も短縮されてしまいましたが、今後も反響の大きさが、番組の継続・再放送につながります。はがき、メール等で、番組の感想をNHK宛に送っていただきますようお願いいたします。

